

ユーザー事例集 [Adobe Creative Suite 2 ユーザー6事例]

User Case Collection



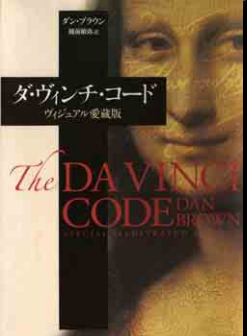
ena



welle design



佐川印刷 株式会社



株式会社角川書店



株式会社ドリームデザイン



株式会社イデア

Adobe® Creative Suite 2 Premium 日本語版



わずか2年前にイラストレーターとして

デビューしたばかりの女性が、

いまや世界を舞台に大活躍している。

わずかな時間でサクセスストーリーを

駆け抜けてきた背景には、

Adobe Illustratorとの

運命的な出会いがあった。

Adobe® Illustrator® CS2の持つ「美しい線の魅力」

モノトーンの世界で女性の繊細さを表現しつづける 新進気鋭のアーティスト



enaさんの描くモノトーンの世界からは、どれも意志の強さと孤独感が感じられる。しかし、enaさん本人は、絵とはまったく好対照な人物だった。とてもカラフルで、関西で生まれた女性を持つ独特の優しさが感じられる。彼女の周りには自然と人が集まり、微笑みに包まれる。彼女と接した多くの人は、絵と本人のギャップに戸惑わされることだろう。しかし、ひとたびインタビューが仕事の内容に及ぶと、彼女の絵に隠されたもう一つの顔が浮かび上がってくる。そんな彼女の魅力に迫ってみた。

アパレル販売から イラストレーターへの転身

enaさんの経歴は、イラストレーターとしては異色だ。

綺麗な女性への憧れが人一倍強かった彼女は、服飾専門学校でファッションビジネスを専攻し、卒業後にアパレルの販売員として大手百貨店に就職するも百貨店をわずか半年で退職することになる。「何かに夢中になりたかった」と、enaさんは当時を語る。

とくに何かをするあてもなかったが、ファッションビジネス科の授業で使ったコンピュータの楽しさを思い出し、父親の事務所においてあったマッキントッシュでIllustratorを使い始めるようになった。以後、毎日のように父親の事務所に通っては、解説書とつきっきりでIllustratorを操作する日が続く。

Illustratorに使い慣れて、いくつかの作品を描くことができるようになったころ、大阪のFMラジオ局「FM802」が主催するアートプロジェクトである「digmcout」のオーディションへ応募するが、落選してしまう。

しかし、その後もdigmcoutを通じて多くの人やアートと出会い、彼女のスタイルを大きく変えることになる。カラーをふんだんに使ったイラストレーションから、現在のモノトーンなスタイルへ転身したのも、この頃からだそうだ。

頭の中の女性像を忠実に描く

Illustratorを使い始めてわずか2年での大成功。彼女のこうした経歴だけを聞くと、多くの人が「天才」と呼ぶかもしれない。だが、彼女の気持ちをここまで駆り立てたのは、なによりも「綺麗な女性を描きたい」という純粋な気持ちからだった。そんなenaさんの原点はやはりファッションにあるという。

「ファッションやモデルが大好きなので、ファッション美術館などで60年代のVOGUEなどをよく閲覧します。こうした雑誌などから、綺麗な女性を見つけたときには、なぜ美しく感じるのかを徹底的に考えます。」

彼女は絵を描くときに、描く女の子の性格づけから始める。どんな性格の子で、どういうファッションが好きで…。こうした様々な思いをノートに走り書き続ける。

「Illustrator CS2からサポートされたAdobe Bridgeのブラウズ機能がとても便利でよく利用しています。」とenaさん。デジタルカメラで撮影したファッション誌をAdobe Bridgeでカタログ形式で表示させることで構図をイメージするのに役立っていると語ってくれた。

父親から受け継いだ 頑固なこだわり

現在、enaさんの仕事量は、月に一人か二人の少女を描くことで精一杯だそうだ。彼女のシンプルな画風からすると、ちょっと少ないように思える。

「私の場合、絵を描くというよりも頭の中にある理想の女性を“写し出す”と言った方が近いかもしれません。ですから、頭の中の女性像を忠実に再現することができるまで、パスを何度も描いては消す作業を繰り返します。」

Illustratorを使って構図をまとめる作業では、楕円ツールなどを使い、大雑把な構成だけを描く。クライアントと密に連携をとり、双方が納得するまで何度も書き直す。

構図が決まり、ようやく微細な部分を描く作業に入っても試行錯誤の繰り返しだ。髪の毛の一房を付け足すかどうか、まつ毛の位置や量はどうか、必要な部分とそうでない部分の見極めをしながら、納得がいくまで何度も繰り返し、作品を完成に近づけていく。

「細かい部分にも妥協を許さない性格は、父親譲りかもしれないですね。」とenaさんは微笑みながら語ってくれた。

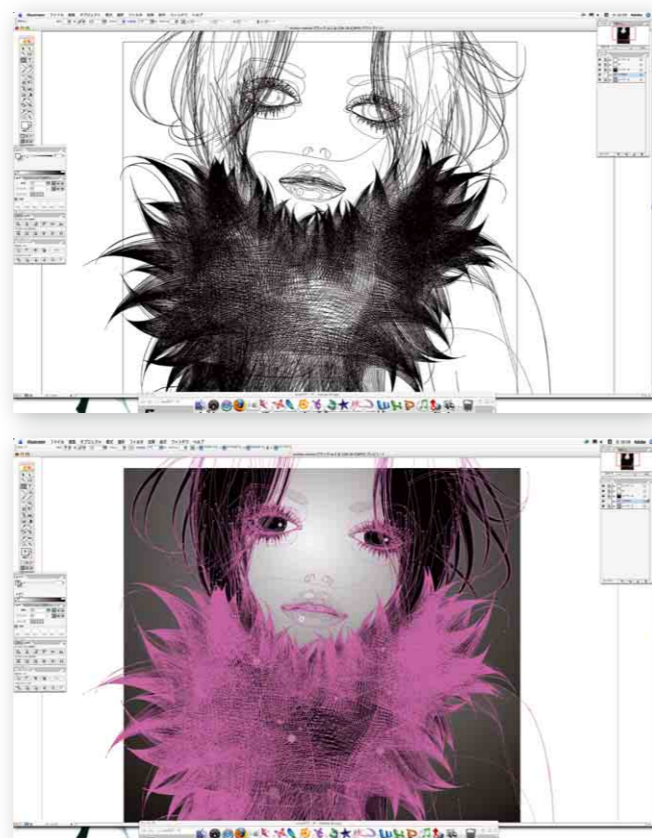
e n a





とにかく“綺麗”な女性を描きたかった

イラストレーター ena氏



シンプルかつ微細なパスワーク

一見、シンプルに見えるenaさんのアートワークだが、アウトライン表示してみると、入念に描き込まれた形跡を伺い知ることができる。

ペンツールを100%使いこなすテクニック

彼女の描く繊細な線はすべてタブレットを利用して描かれている。Illustratorを利用するイラストレーターは数多く存在するが、タブレットを利用しているアーティストは少ない。ところが、彼女は絵を描く作業でマウスを使ったことがないという。

もともとは、彼女の父親が使っていた環境をそのまま受け継いだことが、タブレットを利用するきっかけとなったが、彼女の作業風景を見ると、なによりもタブレットとの相性がよかったと言わざるをえない。

「タブレットを使って、いろいろな線を試しているうちに、はっとするような美しいラインが生まれたり、女の子が急に可愛くなったりします。そのトキメキを味わうのが大好きなんです。」

タブレットとキーボードを器用に使いこなし、たとえ髪の毛一本であっても、「塗り」の面として描く。Illustratorを使っている人でしかかわからない神業に近いテクニックだ。

さらなる飛躍を目指し進化しつづけることが大切

すでに数多くの仕事をこなしているenaさんだが、“売れっ子”と言われるようになっても決して向上心を失ってはいない。

「基礎デッサンをもう少し勉強したいと思って、学校に入ったりしたんですけど、仕事の方が忙しくてなかなか通えないのが悩みなんです」

技術的にも、まだまだ使いたい機能がたくさんあると言う。現在はIllustratorで作成したアートワークを最終的にPhotoshop形式のファイルへ変換し、納品しているというが、これには訳があった。

以前、自分のアートワークの背景に色をしかれたり、複合パスを解除されるなど手を加えられたことがあるそうだ。そこで、手を加えられないよう、ベクトルをビットマップに変換して納品する必要が生じてしまった。

今後はPDFを活用し、ファイルにプロテクトを施すことを考えているという。自分のアートワークを最高の状態で再現し、かつ保護する役目もできるとあって、この機能に期待しているそうだ。今なお進化続ける彼女の動向から今後目を離せない。

会社データ

digmeout FACTORY
大阪府大阪市
<http://www.digmeout.net/>

チャレンジ

解説書を使い、独学でマッキントッシュとIllustratorをマスターする。

ソリューション

Illustrator CS2で完成させたアートワークをPhotoshop形式に出力し、ビットマップ画像として納品。

ベネフィット

タブレットとIllustrator CS2のペンツールを使いこなすことで、女性の持つ繊細なラインをより自然に描くことにこだわる。

Tool Kit

- Adobe Illustrator CS2
- Adobe Photoshop CS2

使いこなすよりも、使い慣れることの大切さとは？

移行に伴うデメリットを凌駕する
Adobe Illustrator CS2の新機能

奇 偶

山 口 雅 也

デザインの質が売りに繋がると、カバーの装丁デザインでは、常に高度なデザインテクニックが要求される。デザイン構想における試行錯誤からフィニッシュまで、すべての作業を完結させることができる。Adobe® Illustrator® CS2には、プロの信頼に応える機能が揃っていた。



welle design

講談社
NOVELS



これまでにブックカバーデザインを手がけた書籍の数々。作業はIllustrator CS2上で一貫して行われている。

戸惑うことなくスムーズに移行できた新環境

G5では、OS 9による起動ができなくなっているのが、必然的に作業環境は完全にOS X環境ということになる。OS Xへの完全移行に伴い、Illustratorのバージョンも10からCSへとアップされ、現在では、最新バージョンであるIllustrator CS2がインストールされている。

多くのデザイナーが使いなれたバージョンを切り捨て、新しい環境へ移行する際、さまざまな問題に直面しているが、坂野氏はそうではなかったという。

「G4マシンを使用していた頃から、OS 9環境だけでなく、ときどきシステムを切り替えてOS Xを使用していたので、G5に交代したときもとくに戸惑うことはなかったですね。少しずつOS Xを使う時間が長くなって、最終的にはOS 9を使わなくなったという感じです。Illustratorにしても、以前に利用していたのがバージョン10だったので、現在のCS2が持つ機能の多くをすでにカバーしていました。ですから、操作や新機能で戸惑うことはほとんどありませんでしたね。」

唯一の問題点は、OS Xでは、OS 9で使用していたOCFフォントが使用できず、OpenType Fontをそろえねばならなかった点だが、はじめから膨大なフォントを買い換えるのではなく、最低限必要なフォントから徐々に導入していくことでコスト負担を軽減した。また、少量のフォントでも高い表現力を実現する秘密が、Illustrator CS2にはあったのだ。

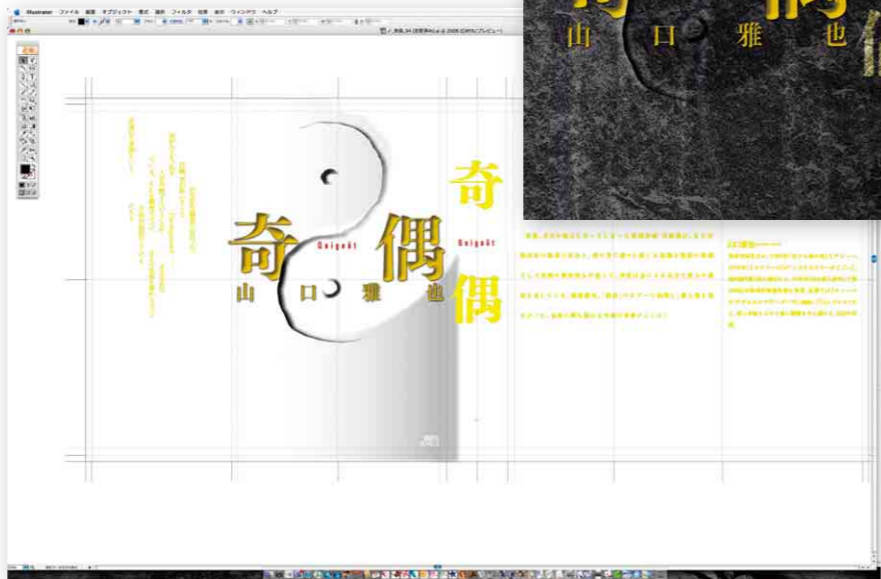
作画と構成を同時に行えるIllustratorが便利

Adobe Creative Suite 2を発売間もない時期から導入した坂野氏は、複数ページ物はInDesignを中心に、装丁の仕事ではIllustratorを中心に、それぞれの長所を使い分けている。

「Illustratorには強力な作図機能が備わっています。つまり、パーツを作成しつつ、同時に紙面の構成も行えるわけです。試行錯誤を繰り返す作業にはやはりIllustratorが便利ですね。」

30インチの解像度を持つAppleのシネマディスプレイで作業する坂野氏は、アートボードの空いた領域で作図作業を行うことで、大画面を有効的に活用している。IllustratorのデータをEPS形式にコンバートし、レイアウトソフトに貼り付けていた頃比べると、格段に作業がしやすくなったという。

Illustratorの表現力が高まったことにより、他のアプリケーションとの行き来の頻度が減少し、それが結果的に作業効率の向上に繋がるのだと坂野氏は語ってくれた。



Illustrator上で配置画像を消した状態。透明効果を活用することで、Photoshopとの行き来を最小限にとどめ、さらにIllustratorの強力なタイポグラフィも活かすことができる

Illustrator CS2の合成フォント機能が実現する高い表現力

それでは、Illustrator CS2に移行した際の一つの大きなメリットとは何か、を坂野氏に尋ねてみた。

「Illustrator CS2になって一番便利だと感じられたのは、合成フォント機能です。装丁の仕事では、タイトルの他にリード的な意味合いの文章を入れることが多いのですが、この際、漢字と平仮名で別の書体を組み合わせています。以前なら、それぞれを個別に選択し、変換していましたが、Illustrator CS2では合成フォント機能を使って、一括変換させることができます。」

同じ明朝系でも漢字と平仮名でフォントの組み合わせを替えるだけで、文字組みの表情をより豊かにすることができる。

坂野氏のIllustratorを拝見すると、すでにさまざまな組み合わせの合成フォントが用意されていた。これらの合成フォントを書籍の内容やイメージによって、使い分けているという。段落スタイル機能もより高機能になり、Illustrator上におけるタイポグラフィの表現力は、CS2となって格段に高まった。

Illustratorの透明効果を最大限に生かした装丁デザイン - 完成品



Illustrator CS2の合成フォント機能

Illustrator CS2では、それぞれの文字要素に対して個別にフォントを割り当て、ひとつのフォントとして扱うことができる。坂野氏はよく使われる組み合わせを合成フォントとして登録し、カバーのリードに利用している。

バージョンアップに戸惑っているのなら
まず悩むより慣れろ、と言いたいですね

welle design 坂野公一氏



透明機能を活かしたデザインに強いIllustrator

合成フォントの他にもIllustrator CS2を使う大きなメリットがあるという。それはPhotoshopとの連携がより高度に行えるという点だ。

「以前のページレイアウトソフトでは、EPS形式に変換しなければ配置できなかった画像オブジェクトも、Illustrator CS2では、Photoshopで作成した画像がそのままの状態でも配置させることができます。つまり透明の属性部分もそのまま引き継がれるわけです。この透明機能をうまく利用することで、デザインに応用させることができます。」

説明とともに見せてくれた以前のアートワークでは、たしかにPhotoshopで作成されたオブジェクトがIllustrator上で組み合わせられ、背面のオブジェクトを透過させていた。EPS化されたオブジェクトでは、透明部分が白くなりイメージ通りの作品を仕上げることは不可能だったはずだ。

もちろん、出力に際しての問題は何もなかった。むしろ、Illustrator、Photoshopともに同一のバージョンを使用することが、トラブル回避の一番の得策であり、これもCreative Suite 2導入する大きなメリットだ。

使い慣れるごとに増すメリット

現在でも、OS 9の環境にとどまっているデザイナーも多くいると聞く。やはり、OSやIllustratorのバージョンの違いによって、なれない操作で作業効率が低下することを懸念しているからだ。この懸念について、坂野氏はこう語ってくれた。

「操作の不慣れや環境は使っているうちに自然と慣れていくものです。まだ操作に慣れていない状態でも、透明効果やスタイル機能などの新機能を使いこなすことで、デザイン効率は高まります。使い慣れてしまえば、今後は更なるデザイン効率が期待できます。だからこそ“悩むより慣れろ” と言いたいですね。」

実際に使ってみると、互換性の問題や操作の不慣れといったデメリットよりも、最新バージョンにおける新機能を使うメリットの方が多く、結果として自然に移行できた、というのが坂野氏の実感なのだそう。

今後は、Bridgeを積極的に活用し、Photoshopとの連携をより深めて行くことにチャレンジして行きたいと抱負を語ってくれた。

会社データ
welle design
東京都目黒区
http://www.welle.jp/
デザイナー

チャレンジ

いきなりすべての作業環境をOS Xへ移行するのではなく、OS 9とOS Xの併用期間を設け、徐々にOS X上の作業を増やすことによって、スムーズな環境移行を実現。

ソリューション

Adobe® Photoshop® CS2のオブジェクトをそのままの状態でもIllustrator上に配置することで、より高度なアートワークの作成が可能とした。

ベネフィット

Adobe® Illustrator® CS2の新機能を使いこなし、作業工程を減らすことで、操作の不慣れを挽回することができた。

Tool Kit

- Adobe® Illustrator® CS2
- Adobe® Photoshop® CS2
- Adobe® Creative Suite 2

連続する大量の組版をすべて自動化 生産性の向上に見事応えたAdobe InDesign® CS2

これまで敬遠されがちだった仕事を
創意工夫で利益を生み出す仕事にかえる。
そこには仕事に対する情熱とともに
顧客に対しても満足してもらいたいという
サービス精神があった。
そして、Adobe InDesign CS2には
そのふたつを満足させる機能があった。



現在、請け負っている印刷物のサンプル。
佐川印刷では、フリーペーパーや英語教材など、幅広いジャンルの雑誌レイアウトを請け負っている。どれもInDesignでレイアウトしたものだ。

画像もすべて自動的にリンクされる仕組みになっている。校正は簡単なものであれば同社の方で修正を行うが、基本的にはクライアントサイドで行ってもらうように依頼している。

佐川印刷株式会社は、おなじみの佐川急便の関連印刷会社だ。書籍の編集および印刷、製本を主な業務とし、主に関西方面で配布されているフリーペーパーや英語教材、グルメ雑誌などを多く請け負っている。

早い段階からDTPを導入してきたが、ここ最近では、Adobe InDesignのXML自動組版機能を活用して、印刷の効率化と生産性の飛躍的な向上に成功した。

今回は、同社における自動組版システムの取り組みと成功に至るまでの経緯をお伺いした。

XMLを活用した自動組版への取り組み

佐川印刷では、Adobe InDesignがリリースされた当初から導入したものの、すぐに業務として活用することができたわけではない。

「我々もページメーカーに変わるレイアウトソフトとして、大きな期待を寄せていました。しかし、RIPがなかなか対応してくれなかったため、実際に業務として使うようになったのはInDesign 2.0がリリースされた頃ですね。」と、デジタルプリプレス事業部次長の川田善一氏は当時をこう振り返る。

折しもマッキントッシュのシステムがOS 9からOS Xへと移行し、WindowsによるDTPも普及し始めた頃だった。そして、さまざまな検証をおこなううちに、ある一つの結論が導き出された。それは、InDesignのXML機能を利用した自動組版システムだった。

InDesignで作成したレイアウト上にXMLのマッピングを指定する。そこへデータを流し込むことによって、大量のページを一括して編集することができるはずだ。そこでまず、自社の社員証を制作してみることにした。

しかし、理論的にはわかるものの、すべてが初めての取り組みだった。当時、XMLによる自動組版システムを担当していた白井さおり氏は、当時の苦勞を語ってくれた。

「なにしろ私たちはXMLに関して、まったくの素人でしたので、まずはXMLの勉強から始めなければなりません。なかなか前に進めなくて、本当にできるのかなど不安になることもありました。」

しかし、ある時期からXMLの構造をすべて理解しようとするのではなく、関連のソフトウェ

アだけを熟知すればいい、ということに気づいたのだという。

データベース上の社員データをcsvファイルに変換して受け取り、これをProXCreatorというソフトによってXML化する。XMLのマッピングを行ったInDesignのテンプレートへ自動的にはめこんで行く。通常では10人体制で行わなければならない作業が、XMLによる自動組版を利用することによって、わずか3人の人員で足りることがわかった。

「それからは早かったですね。一年かかると思われたところをわずか三か月で結果を出すことができました。」この時点で、佐川印刷が得意とする自動組版システムが確立されたわけだ。

大きな結果に結びついたことに、技術担当の人達はより一層の自信を深め、以後、自動組版への取り組みを活発化させることになる。

地道な営業活動が実を結ぶ

社員証の自動組版に成功した佐川印刷では、このシステムを利用した次なる取り組みを模索していた。そこで着目したのが、グルメ雑誌やアルバイト情報誌だった。こうした雑誌では、同じ情報が定型パターンで繰り返し続いたため、XMLによる自動組版システムにマッチした内容となっている。いくつかの会社にアプローチするものの顧客からの反応は鈍かった。

「関西では、わりと早くからInDesignが普及していたんですが、実際に使っている人が少なかったんですね。そこで、まずはInDesignをさらに広めなくちゃいけないと、お客様に対する普及活動を一層強化しました。」

そこで、川田氏をはじめとする技術担当の人達が営業支援に回り、InDesignと自動組版システムの利便性をクライアントへ直接アピールすることとなった。

ある時は現地へ出張してInDesignの講習をおこない、またある時は顧客のためにテンプレートを作成し、InDesignの運用や自動化が双方にとって大きなメリットとなることを説いて回った。

地道なサポートをおこなったことが功を奏し、徐々に依頼が来るようになり、今では英語教材やプライダル情報誌など、自動組版以外の案件も多く依頼が来るようになったという。

一年後に利益が出るようにしたいと思った。
でも、実際には三か月で結果を出すことができました。

主任 白井さおり氏

佐川印刷株式会社

次長 川田善一氏(左) 主任 白井さおり氏(右)



利益の出ないところから利益を出す工夫

これまで、同じ組版のレイアウトが続く印刷物は、制作コストの引き下げ対象になりやすく、オペレーターや校正要員の人件費を考えると、とても割に合う仕事ではなかった。

しかし、自動組版システムを利用すれば、クライアントが持つ既存のデータベースを利用することによって、オペレーターによる入力の手間が軽減される。さらには、校正もクライアントサイドでおこなってもらえるため、校正の人員を削減することができ、作業効率が格段に向上するばかりではなく、経費の削減にもなる。

社員の創意工夫によって利益の出なかった仕事が、大きな利益を生むようになったわけだ。最近では、クライアントからInDesignを使った自動組版を自社でできないだろうか、といった相談を受けることもあるそうだ。

そうした場合でも、無料でテンプレートを作成し、クライアントに喜んでもらうことで、顧客とのWin-Winな関係を築き上げてきたことが、結果として佐川印刷の生産性の向上へと結び

ついたことは、あらためて言うまでもない。また、自社で用意したテンプレートを使ってもらうことで、出力の際のトラブルも減るという効果もある。

Web上で校正できるシステムを運用中

佐川印刷では、これからも自動組版システムを利用した業務をメインにさらなる生産性の向上を目指している。現在は、オンラインによる校正システムを運用中であるという。

このシステムでは、顧客がインターネットのブラウザを利用して、オンライン上でカタログの写真や文章の校正をおこなうことができ、誰がいつ、どの部分にチェックを入れたのかを確認することができるものである。

「オンライン校正システムを利用すれば、カンパ印刷の手間と費用が大幅に削減されるため、さらなる効率化と生産性の向上をはかれます。」と川田氏は語ってくれた。

常に顧客のニーズに応えることを心がけている佐川印刷は、おのずと自分達の技術も向上していき、佐川印刷は、そんな気概に満ちた会社だ。

会社データ
佐川印刷株式会社
京都府向日市
http://www.spcom.co.jp

チャレンジ

現在はネットを利用したオンライン校正システムにチャレンジ中。さらなる生産性の向上と費用の削減を目指す。

ソリューション

データベース上のデータをcsvファイルに変換し、ProXCreatorを利用して、XMLデータを生成。Adobe InDesign CS2のXML自動組版機能を利用して、テンプレート上へ自動的にレイアウトする。

ベネフィット

XMLによる自動組版システムによって、生産性が向上した。これまでに比べて30%から70%の作業効率の軽減に成功する。

Tool Kit

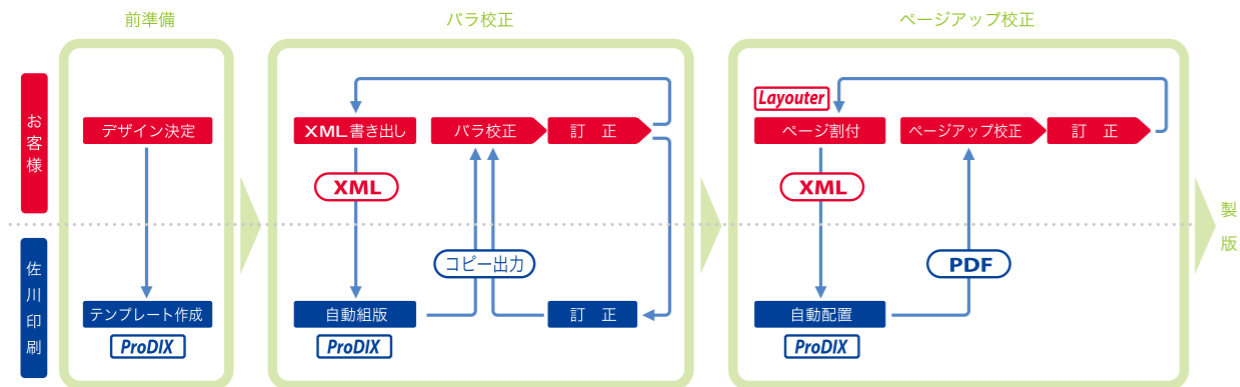
- Adobe® Photoshop® CS2
- Adobe® Illustrator® CS2
- Adobe InDesign CS2



InDesignのレイアウト上にXMLがマッピングされたテンプレートがならぶ。csvからXML形式に変換されたテキストデータを流し込むと自動的にレイアウトに仕上がる仕組みだ。



自動組版ワークフローの一例



前準備

お客様より、レイアウトパターンとカラー指定を頂き、ProDIX上で各パターンのテンプレートを作成致します。その際に最終のXMLフォーマットとパス情報を決定致します。

データ管理

画像及び、自動組版で作成されたInDesignファイル・epsファイルは、下段まで佐川印刷で一括管理致します。

パラ校正

お客様より、各店舗ごとのXMLデータを頂き、ProDIXにて自動組版を行います。各店舗ごとにコピー出力を致します。

訂正

訂正内容により、データベースに戻るか佐川印刷側で訂正作業を行うかご判断下さい。※データベース上でできない訂正は佐川印刷で行うことになります。

ページアップ校正

お客様にてLayouterをご使用頂き、ページ割付を行って頂きます。Layouterより割付情報のXMLを書き出して頂きます。佐川印刷にて自動配置を行い、ページアップ致します。

プリンタ開発まで広がるAdobe® InDesign®の可能性

写植コードから電子書籍用コードまで網羅する Adobe InDesign を核とした『電子原本』構想とは

文芸書の世界では、まだまだ電算写植による組版が主流を占めている。こうした現場では、DTPへの移行にともない過去の資産をどう活かすかが課題となっている。しかし、電算写植もデジタルデータのひとつであることに着目し、データ変換にチャレンジして、見事成功した企業があった。



右から、株式会社ケイ・ジェイ・システムズ 藤森智氏、株式会社角川書店 生産管理部 岩崎保之氏、株式会社角川書店 出版事業部 制作部 福島慎太郎氏、株式会社角川書店 出版事業部 制作部 藤田孝弘氏

株式会社 角川書店

昨年、創業60周年を迎えた株式会社角川書店は文芸書のみならず、コミック、情報誌など幅広く手がける老舗の出版社だ。とくに最近では、ダ・ヴィンチ・コードのヒットでダ・ヴィンチブームを巻き起こしたことで広く知られている。

その老舗の出版社が過去の資産を活かしつつ、新しいメディアにチャレンジしている。これまでにない試みには、InDesignが重要なカギを握っているという。では、実際どのようにInDesignを活用しているのかをうかがってみた。

きっかけは『ダ・ヴィンチ・コード』 『ヴィジュアル愛蔵版』

角川書店では、ダ・ヴィンチ・コードによって多くの読者を獲得したことで、コアなダ・ヴィンチ・コードファンに向けたヴィジュアル愛蔵版を製作することとなった。ヴィジュアル愛蔵版はすでに発売されているハードカバー版に文献で登場するさまざまな絵画や遺跡などの図版をくわえた豪華な造本になっている。今回のヴィジュアル愛蔵版の製作にあたって、編集部では、DTPによる組版をおこなうことが決定された。

現在、角川書店の書籍製作では、ほぼ100%の割合で写植組版を利用している。将来的にはDTPへのシフトを考慮しているものの、写植組版でのワークフローが確立されているため、なかなか移行する準備が整わない状況だという。

ところが、ヴィジュアル愛蔵版では、膨大な数の図版を取扱うため、従来の組版手法でおこなうとかなりの手間がかかってしまう。そこで、図版の最適配置に優れているInDesignを利用することとなった。



一 (2画)			
8画	下 1-323C *4E0B	下 1340	下 S2171
9画	下 1-3E0C *4E09	下 19140	下 M01008
10画	上 1-3830 *4E09	上 2174	上 S1853
11画	上 1-3E65 *4E0A	上 2509	上 S2363
12画	丈 1-3E66 *4E08	丈 2510	丈 M12995
13画	万 1-4B7C *4E07	万 3754	万 S1371
14画	万 1-485F *842C	万 6408	万 M39063

写真は写植コード、CIDコードを含めた文字コード一覧表



『ダ・ヴィンチ・コード』ヴィジュアル愛蔵版では、ふんだんに盛り込まれたカラー写真による図解が特徴だ。この写真を貼り付けることから写植とDTPの融合が始まったと言っても過言ではない。

電算写植とDTPの融合

『ダ・ヴィンチ・コード』ヴィジュアル愛蔵版はすでに発売されているハードカバー版と内容が同じだ。したがって、ヴィジュアル愛蔵版では、すでに編集作業が終了しているハードカバー本のテキストをそのまま流用することを前提としている。

ところが、ハードカバー版は写植組版によって印刷されたものであったため、テキストデータをそのままInDesignへ流し込むことができないという問題につきあたる。

そこで、同社の印刷を手がける旭印刷株式会社に相談すると、電算写植をOpenTypeフォント(CIDコード)とInDesignのタグテキストに変換することで、流用が可能なのではないかとアドバイスを受けた。

そこで旭印刷は、以前から協力関係にあった株式会社ケイ・ジェイ・システムズに相談。同社はプラグインを開発することによって、データ変換が可能であると判断し、さっそく開発にとりかかった。

こうして、これまで前例のない電算写植データからInDesignタグテキストへのデータ変換にチャレンジすることとなった。

データ変換に強力な 助っ人の登場

データ変換プラグインを開発担当したケイ・ジェイ・システムズでは、Adobe PageMakerの時代から、DTPにおけるアプリケーション開発をおこなってきた経験があった。

当時からMicrosoft Wordや電算写植データで作成された文書をPageMakerへ変換するアプリケーションを製作するなど、Windows環境におけるDTP制作の支援や文字コードへの取り組みを得意としていた。

これらの技術を活用することで写植コードをユニコードとCIDコードに置き換え、さらにはルビ等を含むInDesignタグテキストへ変換することに成功した。

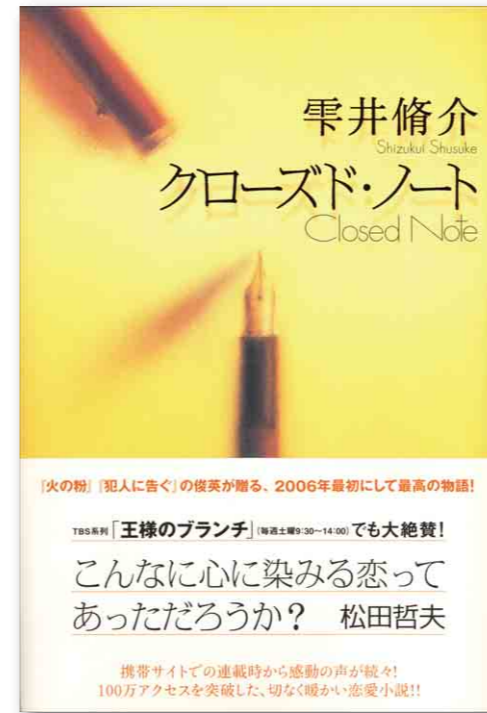
また、実際に利用されたヒラギノでは、カギ括弧の長さが短く、これまでの写植書体にくらべて違和感が生じてしまった。

そこで、InDesignのスタイル機能を利用し、カギ括弧のみを他の書体に切り替えるなどの、写植なみのこだわりも見せた。

数々のアイデアと校正支援によって、多くの問題点をクリアし、『ダ・ヴィンチ・コード』ヴィジュアル愛蔵版を無事に出版することができたのだ。



従来の写植書体に対するこだわりは、括弧にもあらわれている。写植では、ヒラギノにはない長い括弧が使われていた。そのためInDesignのスタイル機能で自動変換されている。



『火の粉』『犯人に告ぐ』の俊英が贈る、2006年最初にして最高の物語!

TBS系 王様のブランチ (放送日時: 9:30-14:00) でも大絶賛!

こんなに心に染みる恋ってあったらどうか? 松田哲夫

携帯サイトでの連載時から感動の声が続々! 100万アクセスを突破した、切なく暖かい恋愛小説!!

InDesignがあれば、文章をどのような形にも 変化させることができます。

さまざまなアイデアが実現できる のはInDesignならではの

今回、プラグインの開発は開発環境の整っているWindows版InDesignで、実際のレイアウト作業はマッキントッシュ版のInDesignでおこなわれている。

「こうした使い分けができるのも完全なクロスプラットフォーム体制が整っているInDesignならではの」と、同社の開発担当である藤森氏は語ってくれた。

また、InDesignが従来のDTPソフトよりも優れている点について、藤森氏は次のように語ってくれた。

「InDesignの優れた点のひとつとして、開発環境がオープンであることがあげられます。SDKが配布されていることで必要なプラグインをすぐに作ることができ、ユーザーが自由に機能を拡張することができるように、あらかじめ設計されています。そのおかげで今回のように、これまでのDTPソフトにはなかった発想の使い方ができたわけです。」

『ダ・ヴィンチ・コード』ヴィジュアル愛蔵版の製作では、同社を抜きには語ることはできないが、その背景には柔軟な発想に応えることのできるInDesignのオープンな環境も一役買っているようだ。

写植から電子出版まで すべてを網羅するInDesign

「角川書店では、6年前より電子出版の可能性に注目し、従来の書籍製作と一体化した電子書籍制作システムを開発してまいりました。この工程で生み出された約1,000作品の電子書籍は、PCや携帯電話、読書専用端末などのデバイスに積極展開しています。最近では、携帯電話ユーザーに向けて書き下ろされた『クロズド・ノート』が、携帯サイト上の口コミで話題となり、延べ100万アクセスを突破するなど、注目を集めました。あらゆるデバイスへの作品供給で、クロスプラットフォーム化がすすんでいます。その核となるソリューションの1つがInDesignの持つ機能だと考えられます」

つまり、素のテキストデータから写植コード、DTP用コード、電子書籍用コードなど、さまざまなメディアに転換できるツールとしてInDesignが利用されるというわけだ。このように、豊富な組版情報を含み、汎用性を持つデジタルデータを、角川書店では「電子原本」と位置づけている。

過去の資産を活かしつつ、新しい事業展開に結びつけるワークフローは、従来の発想にはなかったものだ。同社における今後のデジタルコンテンツの展開に注目したい。



名作『ダ・ヴィンチ・コード』が生み出された角川書店の出版事業部。最近では、携帯ノベルから書籍化された『クロズド・ノート』が注目を浴びている。



会社データ
株式会社角川書店
東京都千代田区富士見2-13-3
<http://www.kadokawa.co.jp/>

チャレンジ
電算写植で組まれた原稿をいかにしてInDesignへ移植するか。複雑なコード変換をプラグインを開発することによって解決する。

ソリューション
電算写植データをInDesignタグテキストに変換し、InDesign上でレイアウト、印刷する。

ベネフィット
電算写植データのみならず電子書籍用コード変換のプラグインも開発。InDesignを介することによって、メディアを問わずあらゆる形態の文章に変換が可能となる。

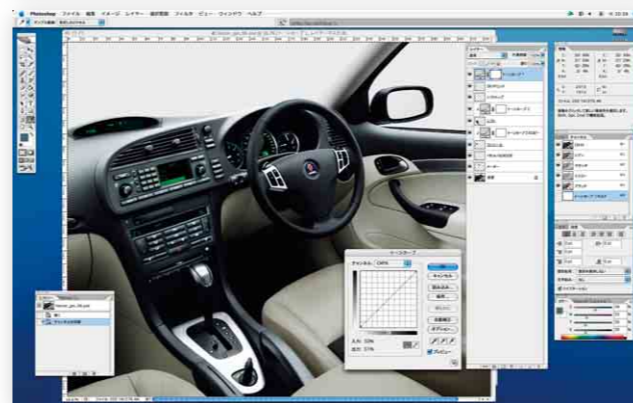
Tool Kit
・Adobe® Photoshop® CS2
・Adobe® Illustrator® CS2
・Adobe® InDesign® CS2

素材作りからフィニッシュまであらゆるメディアで活躍するAdobe Creative Suit 2



ひとつの素材から様々なメディアに向けたデジタルデータのフィニッシュを作成しなければならない昨今の広告制作業務において、Adobe Photoshop CS2®の強力な画像編集機能は必要不可欠な存在となっている。

Special thanks
ゼネラルモーターズ・アジア・パシフィック・ジャパン株式会社
株式会社マッキャンエリクソン



株式会社ドリームデザインは、タバコメーカーである「ケント」やスウェーデンの自動車メーカー「サーブ」など、海外の大手企業をクライアントとした広告制作に多く携わっている。また、最近では既存の広告制作にとどまらず、映画の予告編ムービーやCF制作、webサイトの構築など、活動の場をさまざまなメディアに展開中だ。今年のアカデミー賞を受賞したハリウッド作品「crash」の予告編ムービーや広告媒体の制作も同社の手によるものである。

今回は、ドリームデザインのチーフプロデューサーである大城英一郎氏に広告制作におけるAdobe Creative Suit 2の役割とツールの進化に伴うワークフローの変化について伺った。

Adobe Creative Suit 2 導入のいきさつ

ドリームデザインでは、これまで実践的には利用しなかったものの、わりと早い段階でOS XとAdobe Creative Suitをインストールしたマシンを用意し、最新のシステムへの移行を準備してきたという。

RIPを搭載したカラーレーザープリンターを利用し、ソフトウェアの整合性や印刷の不具合などをチェックするとともに、いつでも新しいシステムに切り替えられるよう備えてきたそうだ。

そこに、新システムへ移行する機会がおとずれる。海外のクライアントがAdobe InDesign CS2を標準フォーマットとして採用したことから、制作サイドの環境もこれに合わせる事となった。

「そろそろ切り替える時期に来たかなと思っていたところに、ちょうどクライアントから、レイアウトの標準フォーマットをInDesign CS2にして欲しいとの依頼を受けたのが直接的きっかけでした。」
入念な下準備をすすめていた甲斐があって、システムの移行に際しても大きな混乱はなかったと大城氏は語ってくれた。

Photoshopを使って 広告素材から作成する

海外のメーカーにおける広告制作では、海外ならではの苦労も多くあるという。自動車であるサーブの場合、各国で細かい仕様が異なってくるために、必要な写真素材が揃っていないことがあるのだそうだ。

「日本限定仕様の場合、本社の方で写真素材が用意されていないことが多いです。フロントパネルやハンドル周りなどで、微妙にデザインが違っていたりすると、まず、写真素材から作成しなければなりません。」

こうしたケースでは、同じアングルで撮影された別の車種の写真から、パーツだけを取り出し、レイヤー上で重ねて合成するのだそうだ。レイヤーを何枚も重ねるので、Photoshop CS2のレイヤーフォルダ管理機能がとても役立っているという。

「それと、Photoshop CS2の新機能であるVanising Pointフィルタがとても役にたっています。パースを維持しながら変形作業を行えるので、写真の合成にはとても便利ですね。」

G5のマシンパワーとPhotoshop CS2という新しい環境によって、ワークフローが向上した好例と言える。

向上したカラーマネージメント機能

広告のデザインでは、商標の扱いや企業イメージに関する厳しい制約がある。当然、色に関してもイメージカラーを忠実に再現する必要がある。

ドリームデザインでは、ゼロックスのレーザーカラープリンターと純正のRIPを利用した環境で色校正を行っているが、これまで、デバイスごとに色の管理を行わなければならなかった。

ところが、Adobe Creative Suit 2を導入したことにより、カラーマネージメント機能が強化され、さまざまな問題が一挙に解決したという。

「Creative Suit 2を導入して、カラーマネージメントがプロファイルによって、一括で行えるようになったのは大きかったですね。とくにJMPAプリセットが導入されたことによって、カラーマネージメントがとても楽になりました。」

プロファイルの中から、プリセットを選択するだけで、制作から入稿までのカラー管理を行えるようになったことで、デザイン制作に集中することができるようになったという。

本社から送られてきたオリジナルの画像に、別の車種からコピーしてきたパーツをレイヤー上で合成し、オリジナルの画像を作成するところから始める。レイヤーごとにトーンカーブで画質を調整し、自然な雰囲気を出している。

株式会社 ドリームデザイン





Special thanks
 プリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン株式会社
 株式会社グレイ ワールドワイド / G2, Japan



画像は要素ごとにレイヤーフォルダにまとめられている。



チーフプロデューサー 大城英一郎

Adobe Creative Suit 2は、自分にとって
 必要不可欠な存在です。

PDFを標準とした完全な
 デジタルワークフローの確立を
 目指して

今後は、PDFを主体に仕事を進められれば理想的だと、大城氏は語る。PDFによって作品におけるジェネラルな状態を作成し、印刷物やweb、ムービーなどさまざまなメディアに展開できるようにするのが今後の課題なのだそうだ。

「PDFであれば、セキュリティの問題もクリアできるし、さまざまなメリットが考えられます。しかし、やはりここでもポイントはカラーマネージメントになるでしょう。メディアによって色が変わらないよう、より一層厳しい品質の管理が必要となります。」

多方面のメディアで広告制作を手がける同社ならではの言葉だ。

実際、同社はPDF入稿に関しても5年前より会社案内のデザインなどで実施している。しかし、多くの印刷所が未対応であることから、本格的に運用するに至っていない状況なのだという。

「今後は、入稿にいたるまで、完全なデジタルワークフローの確立を目指して準備を進めていきたいと思っています。」

いま現在必要としなくとも、周囲の変化に素早く対応できる心構えが常に必要だということだ。

ソフトによって何ができるかよりも
 自分が何をしたいのかが大事

ドリームデザインでは、G5のマッキントッシュを導入したことから、スピードと安定性を得ることができたが、それにはこれまで培ってきたノウハウを一度、白紙にしなければならぬリスクもある。そこで、新しいソフトウェアとシステムの導入を考えている多くのデザイナー達へのアドバイスを大城氏に伺った。

「まず第一に、自分たちのワークフローに新しい環境を必要としているかどうかを検討すべきだと思います。そのためには、自分たちが何をしたいのか、もしくは何をすべきなのかを明確にさせることが大切なのではないでしょうか。必要であれば、どんどん新しいものを導入し、次のステップへ進むべきだと思います。」

新しい機能の中で新しい発想を得ることによって、仕事の幅も大きく膨らむものだと言ってくれた。

今後、マクロメディアと統合したアドビシステムズ社がどのようにデザインツールを進化させ、それによって自分のワークフローがどのように変化するのが楽しみだとのことだ。

会社データ
 株式会社ドリームデザイン
 東京都港区
<http://www.dream-d.net/>

チャレンジ

いつでも新システムに移行できるよう、常に最新のシステムを搭載したマシンを用意し、操作の修練と印刷などの不具合をチェックしておいた。

ソリューション

Photoshop CS2のレイヤー合成機能を使い、画像をパーツごとに組み合わせて、本社で用意できなかった自動車の内部デザインを制作する。

ベネフィット

G5のマシンパワーとAdobe Creative Suit 2の導入により、ワークフローの向上と安定性を確保できた。

Tool Kit

- Adobe Photoshop CS2
- Adobe Illustrator CS2
- Adobe InDesign CS2

Adobe® InDesign® の機能を使い、作業効率の向上を促す

Adobe InDesign® の様々な機能を利用して
 海外から発信される情報を効率よくローカライズ



F1の世界に日本人レーサーが

登場するようになって久くなり、

日本にも本格的なモータースポーツファンが

確実に増えてきている。

おもに海外で発信される情報をいかに素早く、

そして正確に伝えるかが重要なカギとなるが、

日本におけるF1情報の裏舞台を

ささえているのはInDesignだった。



レース終了から4日後に発売されている「F1速報」では、実質編集期間が1日という非常にタイトなスケジュールで進行している。

株 式 会 社 イ デ ア



株式会社イデアのDTP制作部。OS 9とのデュアルブートが可能なG4マシンに加えて、最新のG5マシンが配備されている。



DTP制作部 責任者 林聖蔵氏
DTP制作部 三浦信也氏
F1レーシング 日本版副編集長 藍原幸子氏

高機能を活かすための引き出しを いかに増やすかがポイントですね

DTP制作部 責任者 林聖蔵氏

株式会社イデアは、主にF1を主体としたモータースポーツの専門誌を発行している出版社だ。レースごとに速報で発行される看板誌「F1速報」をはじめとして、100万部を超えるイギリスのF1専門誌、「F1 RACING」の日本語版を発行するなど、多くのF1ファンからの支持を受けている出版社でもある。

イデアでは制作の効率を図るため社内での制作を行っており、最近になりDTPシステムを最新のMac OS XとCreative Suite 2に切り替え、作業効率を向上させることに成功した。InDesignのどのような点がワークフローに好影響を与えたかをうかがった。

イギリス版の移行を受けて 旧システムからの脱却

株式会社イデアのDTP制作部では、2005年の11月ごろから、目標をたてつつ新システムへ移行の準備をはじめたそうだ。オリジナル版を制作するイギリスの編集部がDTPソフトにInDesignを採用したこともDTPソフトを切り替えるきっかけのひとつだ。

「これまで、OS 9とOS Xのデュアルブートが可能なマッキントッシュを使い、旧システムと混在で作業をおこなってきましたが、やはり混在すると作業効率が悪くなるのがわかり、今年の1月から全面的に最新システムを利用しています。」と、同社DTP制作部の林聖蔵氏は語ってくれた。

当初は、1ページもののモノクロページで利用しながら、操作や出力の検証をおこないつつ、時間をかけて新システムへ移行したそうだ。

以前、Illustrator 10を導入したときは、印刷所が対応しきれておらず、新機能の多くが使えなかったそうだが、Creative Suite 2を導入したときには、おどろくほど問題がなかったそうだ。

英語と日本語の違いに 柔軟に対応するInDesign

月刊誌のF1 RACINGでは、イギリス版で利用されたレイアウトデータをサーバ経由でダウンロードし、素材を組み直して再レイアウトしている。以前のDTPソフトを利用しているときに一番問題となったのは英語版と日本語版による制作サイズの違いだったそうだ。

印刷事情の違いからイギリス版の制作サイズは日本版のものよりも若干小さく、108%に拡大する必要があった。以前のDTPソフトでは、誌面の拡大を行うことができなかったため、必要な素材だけを抽出後、各自拡大する必要があった。InDesignでは、そのままの状態でも拡大・縮小がおこなえるので、作業時間を減らすことができるようになったそうだ。

また、レイアウトフォーマットについてこんなエピソードを聞かせてくれた。

「文字全体を斜めに並べるフォーマットがありました。これも以前のDTPソフトでは、機能的に不可能なフォーマットでした。InDesignでは、ごく普通にできるので、表現の幅がものすごく広がっていると思います。また、これまで文字の縁取りや画像のほけ足などは、他のソフトウェアでの加工が必要だったため、一番後回しにしていました。そのため、初校がなかなか出せなかったんです。し

かし、InDesignにしてからレイアウトソフト上で楽に行えるようになって、作業がはかどるようになりました。」と、InDesignに切り替えたメリットを語ってくれた。

InDesignの採用で テキスト処理が強化

近年活躍している日本人F1レーサーと言えば佐藤琢磨氏だ。当然誌面を大きく飾ることもあるが、よくみると彼の名前である、琢磨の「琢」の字に点が入っていることに気づくはずだ。

日常的に使われているのは、点の入っていない「琢」であるため、マッキントッシュでは、点の入った「琢」の文字が入力できなかった。

「これまで異体字の処理は、大きな文字に関してはIllustratorで作画することで解決していました。しかし、小さい文字は対応しきれませんでした。」

InDesignによって異体字変換ができるようになり、佐藤琢磨氏の名前も問題なく表示できるようになったことで、キャプションでも利用できるようになり、大変便利になったという。

また、もうひとつ従来のDTPソフトにくらべてテキスト処理が強化された点として、記号における縦組み変換機能を挙げてくれた。

「縦組みに文章を流し込んだ際、ダブルクォーテーションが自動的に縦組み用に変換されることも気に入っています。」

細かい作業が軽減されることによって、全体的なワークフローを向上させ、結果的に全体の作業時間を短縮させることができたということだ。

InDesignのレイヤー機能を利用し、作業を分担化

同社では、月刊誌とは別にレースごとの情報を発信する「F1速報」の発行もおこなっている。レースが終了した4日後に発行されるため、実質的な編集時間は1日程度しかない。にもかかわらずドライバーのインタビューや全ドライバーのラップタイムなどの情報が満載している。レースが進むにつれてデータ量も多くなると更新作業だけでも大変な手間となる。

そのため、アイデアにおいては効率よく作業を進めるために、編集部とは独立したDTP制作部という部署で雑誌の制作をおこなっている。

「今後は更なる効率を目指して、軽微な修正等は編集部でできるように進めていますが、そんな中、レイヤー機能が備わったInDesignは非常に有効な手段となっています。レイヤー機能をうまく活かし、雑誌のレイアウトをデザインと文字に分けることにより、DTPについて知識の浅い編集部員でもデザインレイヤーをロックすることで、デザインを壊す心配なく文字の修正を行うことができるようになりました。」

レイヤー機能をうまく利用することによって作業をうまく分担化し、ワークフローの流動性をよくすることに成功している。

高機能をどのように使うかがポイント

現在、DTP制作部のマッキントッシュには、最新のMac OS XとCreative Suite 2がインストールされている。週に一度、InDesignの講習会を開き、ノウハウを構築している最中だという。

「どのアプリケーションを利用する場合でも、一番大事なのは引き出しです。引き出しがなければ、せっかくの高機能を活かしきれず、意味がありませんから。」と、林氏は語る。

「PDF入稿については、現在のところ採用していませんが、印刷会社の方からはとくに問題ないと聞いています。いつか時期を見てチャレンジしてみたいですね。」

入稿時ではなく、校了後にライブラリとして利用する場合にPDFを活用しているという。

DTP制作部として、多いとは言えない人員で作業をこなすためには、さまざまなアイデアが必要であると林氏は語ってくれた。今後、アイデアがどのような引き出しを増やしていくのか注目したいところだ。

会社データ
株式会社イデア
東京都品川区
http://www.i-dea21.co.jp/

チャレンジ

InDesignのプラグインを利用し、スタイルを保ったまま表組みのテキストを更新させることで作業効率をアップさせた。

ソリューション

海外で組版されたデータをネットで受け取り、InDesign上で108%拡大。日本語テキストに置き換えてレイアウトする。

ベネフィット

斜めに配置された文字のレイアウトなどが容易におこなえるようになり表現の幅が広がった。またOTFを利用できるようになったことで、異体字の指定が楽におこなえるようになった。

Tool Kit

- Adobe® Photoshop® CS2
- Adobe® Illustrator® CS2
- Adobe® InDesign® CS2
- Adobe® Creative Suite 2



誌面に対して本文が傾いてレイアウトされている。以前のDTPアプリケーションでは不可能だった高度なレイアウトもInDesignは難なくおこなうことができる。

InDesignのオペレーターをお探しですか? [人材派遣会社情報]

Adobe Creative Suiteや
Adobe InDesignを
ワークフローに取り入れたい。
InDesignの作業ラインを増やしたい。
しかし、InDesignを扱える
オペレーターがなかなか
見つからない…。

このようなことでお悩みになったことは
ございませんか?
アドビシステムズでは、従来より
クリエイティブ・プロフェッショナル人材を
多数抱える大手人材派遣会社と協業し、
Adobe Creative Suiteアプリケーションの
プロフェッショナル育成に
努めてまいりました。

必要な人材をお探しの方も、
最新のクリエイティブワークフロー
導入をご検討の方も、是非こちらの
各ウェブサイトをご訪問ください。

<http://www.adobe.com/jp/special/manpower/>
<http://www.adobe.com/jp/csportal>

エイクエント インク

エイクエントは1986年米国ボストンにて創業したクリエイティブ、マーケティング、コミュニケーション分野専門の人材エージェンシーです。国内では東京、大阪、名古屋、福岡の4ヶ所、海外を含めると16ヶ国81ヶ所にネットワークを展開しています。エイクエントでは、登録者の皆様を「専門性を持つ人材」という敬意をこめて「タレント」とお呼びしています。現在、多数のタレントが様々なタイプの企業や制作現場において、活躍のフィールドを広げています。

エイクエントでは、InDesignをはじめとする各種アプリケーションのスキルを多角的に評価することを目的とした「スキル・アセスメント」を登録タレント毎に実施し、専門性を持つ人材に対する要請に備えています。

株式会社 エキスパートスタッフ

弊社は創業以来19年間、出版・印刷・広告業界に特化し、プリプレスに関わる人材を多数派遣して参りました。DTP業界においてはOSやソフトも日々進化し、一人の人材に求められるスキルも多様化してきております。そのような状況の中、私たちは長年培ってきたノウハウを生かし独自の教育手法により人材育成を図っております。

登録スタッフはDTP実務経験者を中心に構成されており、最新ソフトの操作研修はもちろん、企業様のニーズに十分お応え出来るよう、営業担当者並びに技術担当者がヒアリングに訪問させていただいた上での『オーダーメイド研修』も行なっております。

株式会社 クリーク・アンド・リバー社

クリーク・アンド・リバー社 (C&R社) は、クリエイターエージェンシーとして、「クリエイターの生涯価値の向上」と「クライアントの価値創造への貢献」を目指しています。約30,000名のクリエイターネットワークを活用し、派遣社員・正社員・フリーランスなど、契約形態を問わず、プロフェッショナルな人材と、効率的で効果的なクリエイティブを提供いたします。クリエイティブに関わる人材の悩みは、まずC&R社にご相談ください。

C&R社ではアドビシステムズ株式会社と連携し、2005年以来InDesignの研修を実施。150名以上のデザイナー・オペレーターが受講済みです。派遣・正社員だけでなく、フリーランスの人材募集など、InDesignにも対応できるオペレーター・デザイナーのご要望に幅広くお応えします。

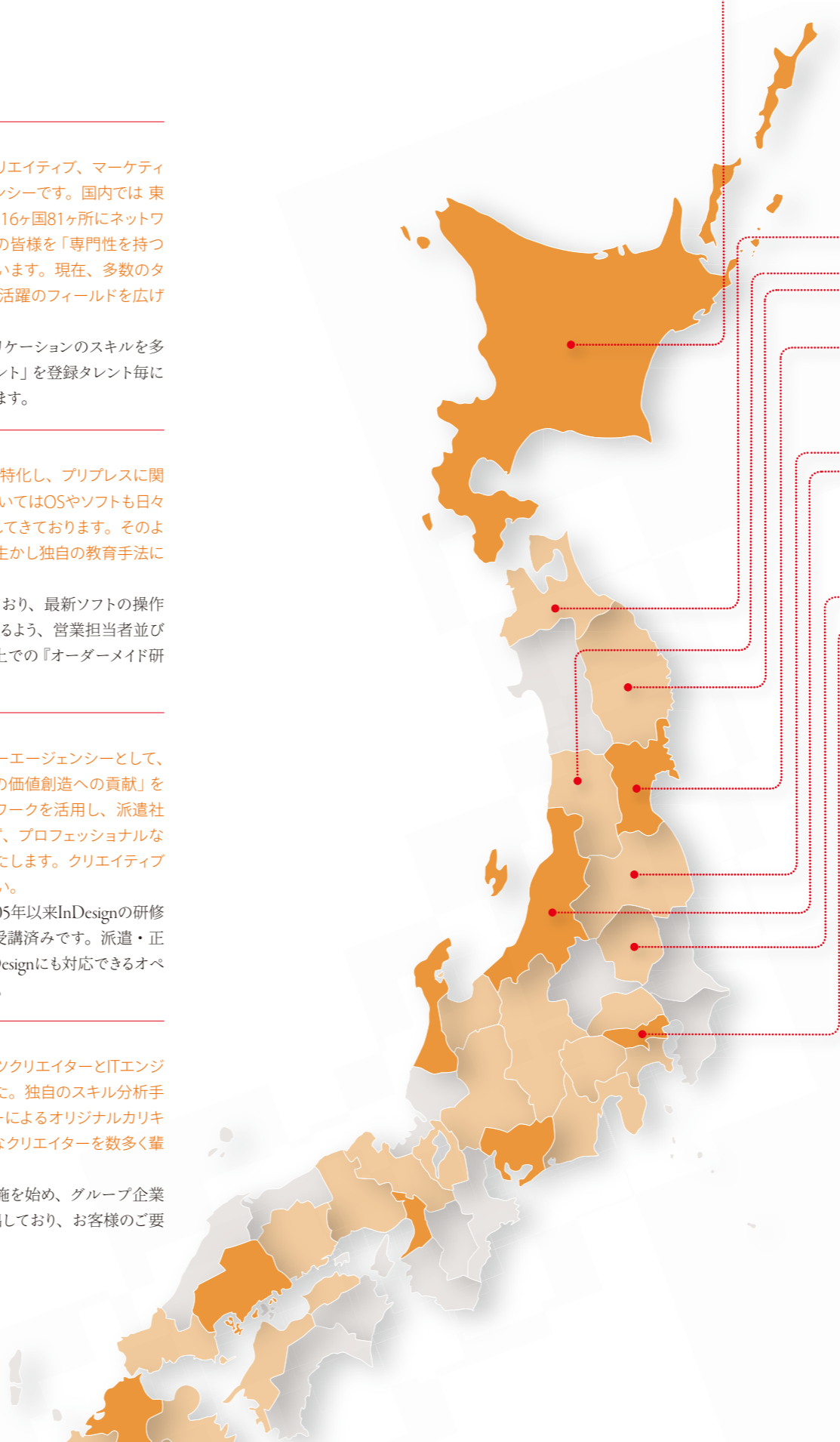
デジタルスケープ

デジタルスケープは、1995年よりデジタルコンテンツクリエイターとITエンジニアに特化した人材サービスを提供してまいりました。独自のスキル分析手法とマッチングノウハウ、経験豊富な専任トレーナーによるオリジナルカリキュラムのトレーニングの実施により、各業界に優秀なクリエイターを数多く輩出しております。

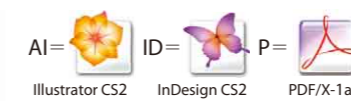
DTPの分野においてもオリジナルトレーニングの実施を始め、グループ企業各社との協力により制作現場で求められる人材を輩出しており、お客様のご要望にお応えしております。

出力対応店一覧

2006年6月現在



	住所	TEL	FAX	AI	ID	P
北海道	(株)メディア・ワン 北海道札幌市白石区菊水9条2丁目2-2	011-825-2007	011-825-2008	●	●	●
	千歳印刷(株) 北海道千歳市錦町3-3	0123-23-2229	0123-23-2724	●	●	●
	(有)ダイシン印刷 北海道苫小牧市見山町3-9-19	0144-73-9068		●	●	●
	札幌大同印刷(株) 札幌市中央区南7条西1丁目13番6号 リバーサイド第2弘安ビル4階	011-562-1270	011-562-1280	●	●	●
	(株)プリプレスセンター 札幌市中央区北2条西14-2-3	011-272-6670	011-272-6680			●
	北海道大学生協同組合 札幌市北区北8条西8丁目 北大クラーク会館内	011-747-8886	011-756-7971	●	●	●
	ほくそう印刷(株) 札幌市北区北18条西5丁目	011-716-7707	011-736-2219	●	●	●
	(株)龍文堂 札幌市手稲区曙二条5-2-54	011-682-1451	011-694-4406	●	●	●
	(株)須田製版 札幌市西区二十四軒2条6丁目1番8号	011-621-1000	011-621-1500	●	●	●
	総合商研(株) 札幌市東区東苗穂2条3丁目4-48	011-780-5677	011-780-3288			●
	藤田印刷(株) 釧路市若草町3番1号	0154-22-4165				●
	(株)だいち・プロ 札幌市西区西町南13丁目1-10	011-665-5269	011-663-0776	●	●	●
青森県	PRINT SHOP VANFU(株) 八戸市大字三日町32 江口ビル1F	0178-22-9300	0178-22-9302	●	●	●
	(株)帆風 八戸センター 八戸市北インター工業団地1-5-2	0178-21-1300	0178-21-1310	●	●	●
山形県	藤庄印刷(株) 上山市蔵王の森7	023-677-1111	023-677-1144	●	●	●
岩手県	トーン印刷(株) 一関市千蔵町の田30-9	0191-52-2445	0191-52-4230	●	●	●
	(株)興版社 盛岡市中野1-4-14	019-624-3456	019-625-3456			●
	(株)杜陵印刷 盛岡市みたけ2-22-50	019-641-8000	019-641-8085	●	●	●
宮城県	(株)佐々木平版印刷 仙台市若林区庄六丁	022-288-5351	022-288-5607	●	●	●
	(株)イメージパーク 仙台市若林区鶴代町4-12	022-236-7202	022-284-8895	●	●	●
	高速美術印刷(株) 仙台市若林区6丁の目西町1-41	022-288-5222	022-288-6030	●	●	●
	高橋印刷株式会社 仙台市宮城野区岡田西町1-45	022-288-6611	022-288-6664	●	●	●
	萩の郷福祉工場 仙台市太白区釣取御堂平38	022-244-0117	022-244-7104	●	●	●
	(株)ユーメディア 仙台市若林区土樋103	022-714-8319	022-224-5151	●	●	●
福島県	(株)坂本印刷所 郡山市喜久田町葛蒲池14-26	024-959-1234	024-959-2345	●	●	●
新潟県	(株)新潟印刷 新潟市津島屋7-27-2	025-273-3111	025-271-2065			●
	新高速印刷(株) 新潟市南出来島2-1-25	025-285-3311	025-285-5656			●
	(株)吉田印刷所 五泉市今泉902-1	0250-43-6144	0250-43-2918	●	●	●
	(株)中央製版 三条市西本成寺1丁目34-19	0256-33-5985				●
	吉原印刷(株) 長岡市南陽2-949-13	0258-23-1155	0258-23-1115	●	●	●
	澤田印刷(株) 上越市春日新田4-2-12	025-543-2010	025-543-2051			●
	サクラ印刷(株) 上越市西田中縄手87-9	025-524-1158	025-524-1159			●
栃木県	(有)フィルムメーカー 宇都宮市陽東3-14-1	028-661-6141	028-661-6417			●
東京都	(株)ハナミ 新宿区山吹町333江戸川橋アクセス1F	03-3267-8430	03-3267-8440	●	●	●
	朋友印刷(株) 新宿区早稲田鶴巻町530BGビル	03-5291-2711	03-5291-2717	●	●	●
	(株)サンニ子印刷 渋谷区代々木2-10-8	03-3375-1077	03-3375-3804	●	●	●
東京支社	(株)サンビーツセンター 荒川区西日暮里2-49-2	03-5850-4541	03-5850-4545	●	●	●
	東京リスマチック 荒川区東日暮里6-41-8	03-3891-5201	03-3891-5202	●	●	●
	日暮里センター 壮光舎プロセス(株) 荒川区東日暮里6-20-9	03-3805-0241	03-3765-2438			●
	凸版印刷(株) 板橋区志村1-11-1	03-3968-5111		●	●	●
	情報・出版事業本部 板橋区前野町3-47-1	03-3960-8353	03-3960-8897			●
	(株)平河工業社 板橋区向原3-9-4	03-3959-9931	03-3959-9921	●	●	●
	向原CTPセンター アーク印刷(株) 北区西ヶ原3-66-9-1F	03-3915-4240	03-3915-4212	●	●	●
	(株)プリントハウス 北区浮間4-5-3	03-5916-4433	03-5916-4434			●
	朝日プロセス(株) 台東区北上野1-9-10	03-3841-0978	03-3841-7802	●	●	●
	(株)帆風 千代田区一ツ橋1-1-1	03-5293-7300	03-5293-7373	●	●	●
	竹橋プリンティングセンター ハレスサイドビルB4F					●
	東京リスマチック 内 神田センター 千代田区内神田2-14-6 神田アネックスビル	03-3256-6131	03-3256-6130	●	●	●
	(株)シーフォース 千代田区神田小川町3-9-4	03-3293-3090	03-3293-3099	●	●	●
	東京リスマチック コミュニケーションプラザ 神保町 千代田区神田神保町1-11-1 三井生命神保町ビル	03-5259-1011	03-5259-1010	●	●	●
	東京リスマチック デジタルプラザ9段 丸元ビル 千代田区神田神保町3-2-6	03-3265-9031	03-3265-9030	●	●	●
	東京リスマチック 九段センター 住友不動産九段下ビル 千代田区三崎町2-4-1 TUG-Iビル	03-3265-4651	03-3265-4650	●	●	●
	東京リスマチック 水道橋センター 図書印刷(株) 千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル	03-3238-6791	03-3238-6793	●	●	●
	日経印刷(株) 千代田区飯田橋2-15-5	03-5276-8695		●	●	●
	(株)サンワ 千代田区飯田橋2-11-8 サンワビル	03-3263-0581	03-3234-9474			●
	エム・アール・アイ ビジネス(株) MBE大手町店 千代田区大手町2-3-6 三菱総合研究所ビル1階	03-3265-1816	03-3511-3366	●	●	●
	(株)帆風 プリンティング センター神田店 千代田区鍛冶町1-9-11 石川COビル1F	03-5255-3836	03-5255-3837	●	●	●
	(株)東京文久堂 千代田区神田神保町2-4-7 久月神田ビル2階	03-5209-4300	03-5209-4325	●	●	●
	(株)帆風 バンフメディア ステーション神保町店 千代田区神田神保町2-4 オリックス神保町ビル1F	03-3230-0193	03-3230-0622	●	●	●
	東京リスマチック コミュニ ケーションプラザ日本橋 中央区日本橋1-16-10 コスモ証券ビル	03-3276-5561	03-3276-5560	●	●	●



出力対応店一覧

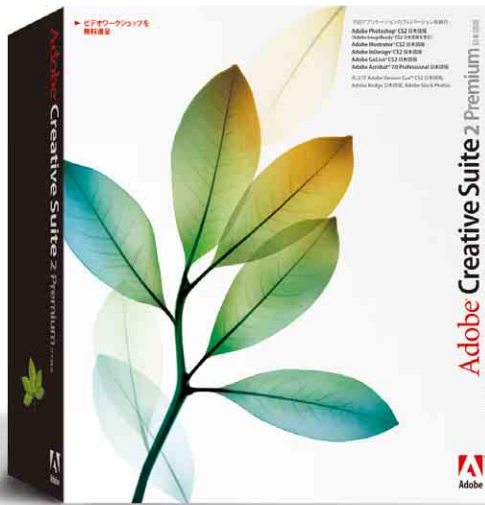
都道府県	住所	TEL	FAX	AI	ID	P
東京都	東京リスマチック 入船八丁堀センター	03-5543-6501	03-5543-6500	●	●	●
	東京リスマチック デジタルプラザ銀座	03-3567-4701	03-3567-4700	●	●	●
	東京リスマチック 築地センター	03-3543-6961	03-3543-6960	●	●	●
	(株)久栄社	03-3552-7571	03-3552-9325	●	●	●
	(有)ビットカフェ	03-5542-3571	03-3551-7821	●	●	●
	(株)プリントン	03-3615-6161	03-3615-6165	●	●	●
	(株)ケープリント	03-5683-3301		●	●	●
	(株)帆風 プリンティング センター八丁堀店	03-3523-6850	03-3523-6890	●	●	●
	(株)帆風 ハンフーメディアステーション築地店	03-3547-0551	03-3547-0557	●	●	●
	タナカ印刷(株)	03-3567-2551	03-3564-2920	●	●	●
東京リスマチック コミュニケーションプラザ 虎ノ門	03-3595-4081	03-3595-4080	●	●	●	
(株)帆風 プリンティング センター三田店	03-6400-0503	03-5443-8831	●	●	●	
東京リスマチック 芝大門センター	03-5472-6171	03-5472-6170	●	●	●	
東京リスマチック 青山表参道センター	03-3746-5901	03-3746-5900	●	●	●	
東京リスマチック リスマチックカレッタ汐留	03-6215-8011	03-6215-8010	●	●	●	
(株)帆風 ハンフーメディアステーション青山店	03-5413-1470	03-5413-1475	●	●	●	
(株)帆風 プリンティング センター新橋店	03-5157-1571	03-3593-8105	●	●	●	
(有)スタジオ・ポストエイジ	03-5977-8753	03-5977-8751	●	●	●	
(株)モダン	03-5812-1031	03-5812-1046	●	●	●	
(株)フクイン	03-3946-2289	03-3946-1653	●	●	●	
東京リスマチック 文京センター	03-3818-2461	03-3818-2460	●	●	●	
(株)北斗社	03-3944-3838		●	●	●	
(株)DNPメディアクリエイト	03-5261-6444	03-5261-6823	●	●	●	
(株)写真化学	03-3341-1211	03-5361-7977	●	●	●	
(株)カシヨ	03-3200-4764	03-5286-7482	●	●	●	
(株)帆風 プリンティング センター新宿店	03-5367-4482	03-5367-5580	●	●	●	
東京リスマチック コミュニケーションプラザ新宿	03-5269-0641	03-5269-0642	●	●	●	
東京リスマチック コミュニケーションプラザ西新宿	03-5909-1271	03-5909-1270	●	●	●	
東京リスマチック 早稲田センター	03-3269-3861	03-3269-3070	●	●	●	
東京リスマチック デジタルプラザ早稲田	03-3269-1951	03-3269-1950	●	●	●	
日東プロセス	03-3269-7771	03-3269-7770	●	●	●	
東京リスマチック 飯田橋センター	03-3235-6271	03-3235-6270	●	●	●	
(株)帆風 プリンティング センター飯田橋店	03-5229-8418	03-5229-5306	●	●	●	
第一資料印刷(株)	03-3267-8211	03-3267-8222	●	●	●	
(株)帆風 ハンフー デジタルプリンティング	03-5229-8208	03-5229-8207	●	●	●	
(株)帆風 ハンフーメディアステーション飯田橋店	03-5229-8229	03-5229-8233	●	●	●	
三共グラフィック(株)	03-3266-9072		●	●	●	
(株)三田プロセス製版所	03-3492-0831	03-3492-0836	●	●	●	
(株)帆風 プリンティング センター渋谷店	03-5485-7197	03-5485-7198	●	●	●	
グラフィック渋谷	03-5456-2323	03-5456-2324	●	●	●	
東京リスマチック コミュニケーションプラザ恵比寿	03-3447-2791	03-3447-2790	●	●	●	
(株)帆風 ハンフーメディアステーション南新宿店	03-5302-5871	03-5302-5873	●	●	●	
(株)帆風 プリンティング センター表参道店	03-3475-4221	03-3475-4222	●	●	●	
(株)メディアオ	03-3621-2911		●	●	●	
(有)旭製版	03-3635-2620	03-3631-7924	●	●	●	
日立インターメディアックス(株)	0422-47-4411	0422-40-1385	●	●	●	
(株)光洋メディア	03-3260-9186		●	●	●	
藤原印刷(株)東京支店	03-5298-3232		●	●	●	

都道府県	住所	TEL	FAX	AI	ID	P
埼玉県	アサヒ印刷(株)	048-541-5152	048-542-6954	●	●	●
	(有)セリグラフィ美術研究所	0493-24-8791	0493-24-8767	●	●	●
	(株)文林堂印刷所	0495-22-3151	0495-21-8196	●	●	●
神奈川県	(有)柳屋タイポ商会	045-322-1944	045-322-3705	●	●	●
	共同写真(株)	045-712-4490	045-743-3039	●	●	●
	YAMAGATA(株)	045-461-4000	045-453-2856	●	●	●
静岡県	(株)ワールドフジ	045-933-8322	045-933-8370	●	●	●
	(資)三島印刷所	055-971-1234	055-973-2632	●	●	●
	東洋印刷(株)	055-988-8000	055-988-8008	●	●	●
山梨県	松本印刷(株)	0548-32-9451	0548-32-8438	●	●	●
	(株)トップ	0543-49-1100	0543-49-1195	●	●	●
	(株)サンニチ印刷国母工場	055-241-1115	055-241-1220	●	●	●
長野県	(株)日美印刷	026-222-6900	026-222-6903	●	●	●
	(株)クレスト	0263-85-1122		●	●	●
	(株)総合印刷	0263-57-4556	0263-85-1155	●	●	●
富山県	ユニプリント(株)	0265-34-1515	0265-34-1511	●	●	●
	富山スガキ(株)	076-429-8202	076-429-8351	●	●	●
	石川県	大村印刷	076-239-3966	076-239-3969	●	●
福井県	(株)橋本確文堂	076-242-6121	076-243-7945	●	●	●
	ヨシタ印刷(株)	076-245-9562	076-245-9567	●	●	●
	福島印刷(株)	076-267-5229	076-267-9530	●	●	●
岐阜県	ストレンジフルーツ(株)	076-263-8855	076-265-6200	●	●	●
	(株)大丸グラフィックス	058-251-5171	058-253-3372	●	●	●
	岐阜製版(株)	058-233-1313	058-233-6248	●	●	●
静岡県	サンメッセ(株)	0584-81-9154	0584-81-9126	●	●	●
	松波印刷(株)	0585-36-0201	0585-36-0201	●	●	●

都道府県	住所	TEL	FAX	AI	ID	P
愛知県	三藤印刷(株)	0568-87-6506	0568-87-6507	●	●	●
	(株)印刷美術研究所	052-461-7151	052-482-5225	●	●	●
	大賀製版(株)	0568-81-6621	0568-81-6681	●	●	●
	中目高速オフセット印刷(株)	052-914-1711	052-914-7913	●	●	●
	(株)アイカ	052-503-0003	052-503-0030	●	●	●
	安藤印刷(株)	052-692-7001	052-692-7176	●	●	●
	駒田印刷(株)	052-331-2011	052-331-7556	●	●	●
	西川印刷(株)	052-979-0390	052-979-0334	●	●	●
	(有)グラフィックス名栄	052-776-1330	052-776-1338	●	●	●
	笹徳印刷(株)	0562-97-1111	0562-96-1013	●	●	●
プリ・テック(株)	0563-55-0707	0563-55-0202	●	●	●	
(株)伊藤美藝社製版所	052-991-2258	052-914-6064	●	●	●	
(株)クイックス	0566-24-5511	0566-26-0200	●	●	●	
(株)ディ・スタイル西川	052-979-0386	052-979-0387	●	●	●	
(株)プロセスセンター	052-222-4511	052-222-4517	●	●	●	
(株)フジカ	0568-89-3661	0568-89-3668	●	●	●	
滋賀県	(株)写真化学	077-566-2471	077-561-2159	●	●	●
福井県	スキット(株)	0776-53-1000	0776-53-3575	●	●	●
京都府	(有)森田美術印刷	075-692-3131	075-672-8511	●	●	●
	ショウワフカウ・ワイプレス(株)	075-721-4541	075-711-0331	●	●	●
	日向印刷(株)	075-934-8014	075-934-0255	●	●	●
	株式会社永和	06-6974-0606	06-6974-0607	●	●	●
	サン美術印刷株式会社	06-6976-0234	06-6976-0954	●	●	●
	(株)坂井印刷所	06-6928-3139	06-6928-8838	●	●	●
	ケイビーエス(株)	06-6716-5665	06-6711-2804	●	●	●
	北東工業(株)天満営業所	06-6242-4431	06-6353-5663	●	●	●
	北東工業(株)大淀営業所	06-6453-1361	06-6453-1362	●	●	●
	(株)研文社	06-6314-0151	06-6314-0159	●	●	●
原多印刷(株)	06-6882-3555	06-6882-3545	●	●	●	
やまかつ(株)	06-6371-4641	06-6377-2224	●	●	●	
(株)NPCコーポレーション	06-6351-7271	06-6352-7479	●	●	●	
北東工業(株)野江営業所	06-6933-6331	06-6933-6332	●	●	●	
(株)メインカラー	06-6932-5933	06-6931-6629	●	●	●	
真生印刷(株)	06-6672-1131	06-6672-1141	●	●	●	
(株)光陽社	06-6944-5196	06-6944-5030	●	●	●	
北東工業(株)中央営業所	06-6763-3382	06-6763-5138	●	●	●	
北東工業(株)寺田町営業所	06-6779-2431	06-6779-2432	●	●	●	
北東工業(株)朝本町営業所	06-6447-7041	06-6447-7043	●	●	●	
北東工業(株)玉造営業所	06-6974-1161	06-6974-2992	●	●	●	
マルビー印刷(株)	06-6393-2261	06-6394-5682	●	●	●	
(株)遊文舎	06-6304-9325	06-6304-4995	●	●	●	
富士精版印刷(株)	06-6394-1184	06-6394-1084	●	●	●	
(株)高速オフセット	072-227-1211	072-227-6336	●	●	●	
(株)アーツ	06-6368-7706	06-6368-7709	●	●	●	
(有)ケイ・エスピー	06-6782-8071	06-6782-8085	●	●	●	
(有)谷添写真工芸社	078-341-3092	078-371-2429	●	●	●	
丸山製版(株)	0794-32-1527	0794-34-3051	●	●	●	
岡山県	(株)あさひ印刷	086-422-2900	086-422-2901	●	●	●
	(株)正文堂印刷所	0865-66-1687	0865-66-2003	●	●	●
	サイトー印刷	086-244-3824		●	●	●
広島県	中国印刷(株)	082-277-1111	082-277-6111	●	●	●
	(株)中本本店	082-228-9808	082-502-3170	●	●	●
	(株)デジコム	082-245-8411	082-504-1068	●	●	●
中本総合印刷(株)	082-281-6271	082-282-9931	●	●	●	
山脇印刷(株)	0846-29-1535	0846-29-1537	●	●	●	
山口県	瞬報社写真印刷(株)	083-249-1100	083-249-1021	●	●	●
	瞬報社オフライン印刷(株)	083-972-5678	083-972-5385	●	●	●
香川県	(株)モトヤマ	087-823-0111	087-823-0116	●	●	●
	(株)アイモス	087-882-3456	087-882-0453	●	●	●
	愛媛県	佐川印刷(株)	089-925-7471	089-925-7464	●	●
福岡県	岡田印刷	089-941-9111	089-941-2043	●	●	●
	(株)明朗社	089-958-6868	089-958-7101	●	●	●
	第一印刷(株)	0898-48-8333	0898-48-8330	●	●	●
佐賀県	(有)菊地写真製版所	092-521-1561	092-522-7090	●	●	●
	凸版印刷(株)	092-722-2087	092-752-2034	●	●	●
	西日本事業本部			●	●	●
大分県	Y Digital Printing Factory	090-7981-6171	092-561-7398	●	●	●
熊本県	大和印刷(株)	0942-43-0331	0942-43-5020	●	●	●
	(株)親和プロセス	092-552-2402	092-512-8217	●	●	●
	佐賀県	福博印刷(株)	0952-24-2377	0952-24-9731	●	●
大分県	(株)エポックアート	097-569-1181	097-569-1108	●	●	●
	(株)インタープリント	097-568-8123	097-586-2005	●	●	●
鹿児島県	クギヤ印刷(株)	0965-34-2031	0965-35-7108	●	●	●
	Pressbee(プレスビー)	0120-956-569	0994-31-1953	●	●	●
(株)トライ社	099-226-0815		●	●	●	



Adobe® Creative Suite 2 Premium 日本語版



- ▶ Adobe® Photoshop® CS2 日本語版
- ▶ Adobe® ImageReady® CS2 日本語版
- ▶ Adobe® Illustrator® CS2 日本語版
- ▶ Adobe® InDesign® CS2 日本語版
- ▶ Adobe® GoLive® CS2 日本語版
- ▶ Adobe® Acrobat® 7.0 Professional 日本語版
- ▶ Adobe® Bridge 日本語版
- ▶ Version Cue™ CS2 日本語版
- ▶ Adobe® Stock Photos

Essential Guideシリーズ
すべてのグラフィックユーザーに向けて、
Adobe Creative Suite 2のエッセンスを
凝縮したガイドブックです。

<http://www.adobe.com/jp/print/printproinfo.html>

Macintosh®/Windows®

必要システム構成 [Adobe Creative Suite 2 Premium]

Macintosh版

- PowerPC® G4、G5プロセッサ*
 - Mac OS X v.10.2.8~10.4 (10.3.4~10.4を推奨) およびJava™ Runtime Environment 1.4.1
 - 384MB以上のRAM (アプリケーション1つとAdobe Bridge+Version Cue使用時)
 - 複数アプリケーションの動作には追加のRAMが必要 (512MB~1GBを推奨)
 - 全てのアプリケーションのインストールには4GB以上の空き容量のあるハードディスクが必要
 - 1024×768以上の画面解像度をサポートするディスプレイ
 - 16bit以上のカラー表示が可能なディスプレイ、ビデオカード (24bitカラー以上を推奨)
 - CD-ROMドライブ
 - Adobe PostScript®プリンタでの出力にはAdobe PostScript Level 2またはAdobe PostScript 3™が必要
 - マルチメディア機能を使用するにはQuickTime 6.5が必要
 - プロダクトアクティベーション (ライセンス認証) のためにインターネット接続または電話回線
 - Adobe Stock Photosや付随するサービスのためにブロードバンドインターネット接続
- *PowerPC G5にはMac OS X 10.3以上が必要です

Windows版

- インテル® Pentium® IIIまたは4クラスのプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- Microsoft Windows 2000日本語版Service Pack 4またはWindows XP日本語版 (Service Pack 1または2)
- 384MB以上のRAM (アプリケーション1つとAdobe Bridge+Version Cue使用時)
- 複数アプリケーションの動作には追加のRAMが必要 (512MB~1GBを推奨)
- 全てのアプリケーションのインストールには3GB以上の空き容量のあるハードディスクが必要
- 1024×768以上の画面解像度をサポートするディスプレイ
- 16bit以上のカラー表示が可能なディスプレイ、ビデオカード (24bitカラー以上を推奨)
- CD-ROMドライブ
- Adobe PostScript®プリンタでの出力にはAdobe PostScript Level 2またはAdobe PostScript 3™が必要
- マルチメディア機能を使用するにはQuickTime 6.5が必要
- プロダクトアクティベーション (ライセンス認証) のためにインターネット接続または電話回線
- Adobe Stock Photosや付随するサービスのためにブロードバンドインターネット接続



- ▶ **アドビ カスタマー サービス** Tel. ナビダイヤル 0570-06-7337または 03-5350-0407 電話受付時間 9:30~17:30 (土、日、祝日および弊社指定休日を除く)
- ▶ **アドビストア (注文専用)** フリーダイヤル 0120-61-3884

Better by Adobe.™

アドビ システムズ 株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イースタワー www.adobe.co.jp

このカタログに記載の情報は、2006年7月現在の情報です。内容に関しては予告なく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Adobe, Adobeロゴ, Adobe Illustrator, Adobe Reader, Acrobat, Distiller, GoLive, InCopy, InDesign, Photoshop, PostScript, PostScript 3は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。MacおよびMacintoshは、米国および他の国々におけるApple Computer, Inc.の登録商標です。インテルおよびPentiumは、アメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。PowerPCは、International Business Machines Corporationの米国ならびに他の国における登録商標です。MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。
©2006 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. ASICS156 7/06

